

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和5年4月8日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4691400115
法人名	医療法人 浩愛会
事業所名	グループホーム まごころ
所在地	鹿児島県垂水市錦江町1番地238 電話 0994-32-6666
自己評価作成日	令和5年2月28日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/">http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和5年3月17日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>基本理念 「まごころ」「寄り添い」「支え合い」を職員で共有し、日々のケアに努めています。医療法人浩愛会が運営しており、「池田温泉クリニック」と連携を取り、体調不良時・急変時の敏速な対応が可能であり、早期発見・対応を心がけています。入居者様の話を良く聴き、入居者様の感情に触れ、入居者様との関わりの中で、「お互い様」の気持ちを大切に、入居者様と共に過ごしています。入居者様の言葉に出来ない思いや、伝えられない思いを職員で話し合い、少しでも自己実現に近づける様に職員同士で報告・連絡・相談ができるように心がけています。また、職員のスキルアップを目指し、外部の研修も積極的に参加して、ケア会議で伝達研修も行っています。コロナ禍のため、地域との交流や屋外の活動は自粛しているが、敷地内の畑や花壇の手入れなど取り組んでいます。今、出来る事を考え、季節の行事や誕生日等のイベントを工夫し大切にしています。</p>
---

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<ul style="list-style-type: none"> <li>・当事業所は、垂水市の海岸近くに立地し、同一法人の小規模多機能ホーム・グループホームに隣接して建てられている。母体医療機関とは定期的な往診や緊急時対応を含めた連携協力体制が築かれ、本人・家族の医療面における安心となっている。</li> <li>・コロナ禍のため家族との面会も制限されているが、面会時や電話での状況報告のほか、家族の要望で写真・動画撮影をしたり、毎月の近況報告・年4回の事業所便りの送付により家族との関係が途切れないように取り組んでいる。</li> <li>・利用者が落ち着いて生活できるよう、意向に沿って気がかりな自宅や墓に同行したり嗜好品購入に家族の協力を得て取り組んでいる。</li> <li>・管理者は、日頃から職員の意見や相談に耳を傾けて、働きやすい職場環境作りに取り組んでいる。資格や研修の費用補助なども法人で整備し、職員の質とサービスの向上が図られている。</li> </ul>
--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念は、日々のケアで方向性が違ったり、迷ったときに振り返る基になることを職員で共有できるように話し合っている。	理念は玄関・ホールに掲示しパンフレットにも掲載している。日頃から各自で確認し理念に沿ったケアに取り組み、ケア会議でケアの振り返りを行っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	今年度も新型コロナウイルス感染予防対策のため地域との交流は自粛中である。民生委員の方が定期的に窓越しではあるが様子を見に来てくれる。	自治会に加入し回覧板で地域情報は把握しているが、地域との交流は見合わせている。その中で、民生委員の定期的来訪や自治会の七夕飾りへの出展等は継続している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	認知症介護相談所を開設し、地域住民の相談について、認知症の勉強会や研修に参加し、適切な支援ができるようにしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	新型コロナ感染予防のため、今年度の会議も、行政のみの参加となっている。事業所の活動内容報告をし積極的に意見や地域の情報をを頂いている。	運営推進会議は2ヶ月に1回実施しているが、コロナ禍のため、書面会議や事業所と行政のみの参加で実施している。コロナ禍の中で事業所が取り組んでいる状況を理解してもらえよう、意見交換を積極的に行なっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議時に報告をおこなったり、市の主催する研修会に参加した時など、情報交換し、助言など頂いている	市の担当者とは、運営推進会議時の意見交換や電話・窓口に出向いての相談等で日頃から連携を図っている。市及び地域包括支援センター主催の研修会には積極的に参加し、参加者間の情報交換に努めている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	法人内に身体拘束委員会があり、委員が会議に参加している。他事業所と困難事例の報告をし、支援の検討をしている。入居者様の症状に応じて対応しているため身体拘束はしていない。	指針を作成し、委員会は3ヶ月に1回法人で実施している。勉強会を年1回実施し、ヒヤリハット報告にも積極的に取り組んでいる。ことばの拘束や玄関の施錠などを含めて、利用者の行動を制限しないケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待を未然に防ぐことが出来るように職員同士で、遠慮せず、正直な気持ちを話せるような事業所づくりを目指している。職員の介護ストレス等に気を付けている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	事業所内で権利擁護に関する勉強会をおこなっている。権利擁護の指針を理解し、入居者様の権利を阻害しないように取り組んでいる		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	事前に重要事項説明書をもとに説明を行っている。急変時の対応や長期入院時の対応などは家族面会時などで話をし、ご理解を図っている		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	月に1回 居室担当がご家族へ入居者様の状況報告を行い、意見を伺い、ケア会議などで情報の共有をし検討している	利用者には日常会話で聞き髪染めや歯科受診等、出された要望に対応している。家族には面会時や電話で要望を聞いて対応し、記録やケア会議で情報を共有している。家族からの写真や動画撮影の要望には、家族のスマホを預かって職員が撮影している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	定期的に面談を行っており、意見交換を行っている。運営はケア会議で職員間で意見を出し合い、職場環境作りに生かしている	管理者は、ケア会議や個別面談のほか、日常的に職員の意見を聞くように努めており、利用者の状況変化に応じたケアへの提案等を日常のケアに反映させている。個別相談は管理者が随時受けて対応している。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	人事考課などを実施し、勤務状態の評価をし、個人面談時に向上心をもてるように配慮しながら本人にも話をしたりしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員の個性や能力・得意とすることを把握し、法人内外の研修計画を立てている。また年度はじめに「目標管理シート」を作成して取り組んでいる</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地域で行われる研修会に職員を参加させ、市内の他事業所の職員とも顔見知りの関係ができる時間をつくっている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所開始からすぐには、信頼関係を築くことは難しい事を家族に説明し、ご理解・協力をお願いしている。職員にも入居者様の不安な気持ちを傾聴し、寄り添うよう取り組んでいる。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	契約時に、家族の今までの経緯や困りごとなど聞くようにしているが、不安な気持ちや思いは変化していくのでその都度話してもらえるような信頼関係の構築を心がけている		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人・家族の意向を確認しながら、無理のない様にスムーズにサービスが提供出来る様にしている。入居する事でいい距離感ができて、よりよい関係性に戻られるよう気を付けている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者様を尊重し、職員の事を受け入れてもらえるよう日々努力している。信頼関係のもとにできることは職員と一緒にしてもらい「ありがとうございます」「助かっています」の気持ちを伝える様にしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	入所されたことで、関係性が薄くならない様に、電話やたよりなどで近況報告し、必要な品物などの購入の協力をお願いしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	コロナ禍のため、施設内での生活が中心となっているが、ご本人が大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れない様にドライブで車窓から見てもらったり、電話の支援をしている。	窓越し面会や毎月の近況報告・年4回の事業所便りに取り組み、家族との関係が途切れないように努めている。自宅訪問や墓参に同行したり、馴染みの医師や理容師の継続により、これまでの関係継続を支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者様の関係性を大事にし、職員間で情報共有しながら、席の配置を考えている。気分の変動がみられる時は職員が関わるように心がけている		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去時にいままでの関わりに感謝していることを伝えるようにしている。退去されても、関係性を大切にしていきたいことを伝えている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居者様との日々の会話の中から希望を把握し、本人本位の考え方をもとに職員間で検討している。家族にも相談し協力をお願いしたりしている	日常会話から本人の意向把握に努め、困難な場合は家族等の情報から思いを推測している。希望で自宅訪問や墓参に同行したり、嗜好品の購入を家族に依頼するなど、家族の協力も得ながら対応に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	情報提供書の把握をし、入居者様・家族との関わりの中で知り得た情報も職員間で共有出来る様にケア会議などで話し合っている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居者様一人ひとりの個性を大切にし、日々の関わりの中で「気づいたこと」を共有し、活かせることが出来る様にしている		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人の要望を中心に考え、家族に確認しながら、職員の意見を参考にし介護計画を作成している。また担当職員も設け、サービス提供確認や評価ができるよう努めている	本人・家族の希望を基に、ケア会議で出された職員の意見を入れて介護計画を作成している。毎日ケアチェックを行って実績記録に記載し、3ヶ月毎にモニタリングと見直しを行っている。医師から家族に病状説明を行い、話し合って計画につなげることもあり、現状に合った計画作成に努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録や申し送り、連絡ノートを活用し、職員間で情報共有に努め、サービス内容の振り返りや介護計画の見直しに活かしている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人・家族の状況変化に対応できるように、職員間でサービス内容の検討をし、様々な意見をもとに柔軟な支援が出来る様に取り組んでいる		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	コロナ禍のため、地域との交流が出来ていないが、自宅だけではなく、生まれた地域の把握をし、市報などで地域の情報を伝えるようにしている		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前の関係性を大切に、本人・家族の意向によりかかりつけ医を決めてもらっている。	入居時に希望するかかりつけ医を確認しており、母体医療機関以外の医師も含めて往診を受けている。他科受診は家族対応を基本にしており、緊急時は隣接する同一法人事業所の看護師の協力も得て対応している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>看護師に些細な事も相談し、助言をもらっている。またかかりつけ病院の看護師との情報交換の窓口になってもらっている</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時は当該病院の相談員と連絡をとり、情報提供をしたり、状態把握に努めている。本人・家族にも連携していることを伝え、不安な気持ちが軽減出来る様取り組んでいる。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>契約時、リスク説明の中で終末期の要望を確認し事業所での取り組みを説明し、ご理解をしてもらっている。関わりの中で終末期のあり方についても変化が見られると思うので、柔軟な支援が出来る様にし、チームで取り組めるように情報共有に努めている</p>	<p>看取り指針を作成して、契約時にリスク説明書で説明し同意書もらっている。重度化等の状況変化時に家族の意向を再確認し、家族の要望に添って医師の協力を得て支援に取り組んでおり、看取り介護の実績がある。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変時の対応は定期的に勉強会を開催し、確認している。また年2回の防災訓練時に救命訓練を計画し参加している</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回 避難訓練を行っている。夜間発生時の緊急連絡の訓練は行ってはいるが、人員の少ない時の避難については職員間で検討している。海岸沿いでもあり、桜島も近いため、火山噴火時の対応や津波発生時の訓練を机上にておこなっている。</p>	<p>年2回昼夜想定で避難訓練を実施しており、津波想定での訓練も実施している。コロナ禍のため、消防署及び地域住民等の訓練参加は見合わせているが、近隣住民を含めた連絡網の作成等、地域の協力体制を築いている。非常用の備蓄は、5日分の水・食料を確保し、リスト作成や管理は法人で行っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者様一人ひとりの人格を大切にし、生活歴も様々であることを認識し、理解しながら対応することを心がけている	ケアマニュアルを作成し、研修を実施している。誇りやプライバシーを損ねないように、苗字にさん付けでの呼びかけを基本にし、人格を尊重したやさしいことば遣いに努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居者様の希望を日々の関わりの中から引き出し、自己決定を促し、実現できるように支援している		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	事業所の1日の流れはあるが、パーソンセンタードケアの履行を念頭に、その方のペースで過ごせるよう職員間で共通の認識を持ち取り組んでいる		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	衣服は本人に選んでいただいているが、選べない・わからない時はサポートしている。散髪はコロナ禍のため、施設内でおこなってもらっているが、本人の希望をきいて、伝える様にしている		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備や片づけを入居者様と一緒にこなしている。畑の野菜の収穫から下ごしらえ、調理の手伝いも手伝ってもらったりしており、感謝の気持ちを伝える様にしている	管理栄養士の指導を受けて調理し、個々に合った食事形態で提供している。菜園の野菜の収穫や下ごしらえ、食事の準備を利用者も一緒に行い、誕生日のケーキや季節の行事食で食事を楽しめるように工夫している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事メニューにおいて、管理栄養士の指導を受け、食事の提供を行っている。1日分の食事・水分摂取量を記録し、少ない方には、飲食物の工夫をしている		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に口腔ケアを行い、本人が出来る方は自己にておこなってもらい、最後に確認するようにしている		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	介護記録に排泄状況を記録し、パターンを理解する事で、失敗を防ぐことが出来、本人の自信にもつながっている。できるだけトイレで排泄する取り組みをし実行している	排泄チェック表で把握したパターンを活かしてトイレでの排泄支援に取り組んでいる。個々に合ったパットを適切に使用しトイレでの排泄に取り組んでいるが、夜間はポータブルトイレを使用する利用者もある。	
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄記録により、排便の状態を把握している。水分量の確認や腹部のマッサージ、オリゴ糖を使用したりして早めの対応に努めている。排便困難な方にはかかりつけ医に相談し薬剤を使用し体調管理に努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴は楽しみの時間になっているため、本人の希望、ペースに合わせて入浴出来る様に支援している。	本人の希望や状況により、週2～4回入浴支援を実施している。必要に応じたシャワー浴や2人介助、ゆず湯や入浴剤、好みのシャンプー・石鹸など、安全で楽しんでもらえるよう工夫している。嫌がる場合は、人や声掛けを変えて支援している。	
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	睡眠パターンを記録し、睡眠状態を把握できるようにしている。不眠・不穏のある方は無理強いせず本人のペースを大事にすることを心がけている		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬管理は事務所でしている。スタッフが複数で確認し、与薬時には本人と確認するよう取り組んでいる。処方内容も確認し、変更時は申し送りノートに記載し情報の共有が出来る様にしている		
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ご本人の意向を大事にし、職員間で情報共有、検討し出来る事を取組んでもらうようにしている。ご本人にあった「役割」が見いだせるように努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>新型コロナウイルス感染予防対策をしっかりとし、ドライブ程度ではあるが外出している。屋外の散歩は天候次第で毎日おこなっている。</p>	<p>近隣の散歩を日常的に行っている。花見のドライブや本人の希望に沿って自宅訪問や墓参に出掛けている。家族と他科受診で外出したり、法人の許可を得て配偶者の葬式に参列した利用者もある。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お金を所持している方もおられるが、現在は買い物に行けていない状況である。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>ご本人の希望時は、電話支援している。家族からの郵便の受け渡しも行っている。手紙のやり取りを希望される方はいませんが、声掛けし希望時は支援していきます</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節や天候を考えながら快適な空間づくりを心がけています。またレクリエーションで作成した季節にあった工作を展示し、季節感を感じられる様に工夫している</p>	<p>ホールは天井が高くゆったりしており、空気清浄機や加湿器・サーキュレーターで適度な室内環境に調節され、天窓で換気も十分行っている。壁には季節の作品や飾り物があり、季節を感じられるようにしている。和室スペースやソファで利用者がくつろげるよう配慮している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>和室やソファを利用して、気の合う方々で過ごせる時間がつくれるように配慮している。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入所前に本人・家族と相談し、自宅で使用されていた物やこだわりの物など持ってきていただき本人が落ち着いて過ごせるようにしている。また本人が安全に移動できるようにレイアウトも考えている</p>	<p>居室にはベッドやタンス・エアコンが備えてあり、ベッドは利用者に合わせて配置している。寝具はリースである。本人はテレビや仏壇・位牌・写真・ぬいぐるみ等の使い慣れたものや好みものを持ち込み、身近にそれらを置いて安心して過ごせるようにしている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>一人ひとりの能力に応じて、居室の工夫をしたりホールの空間を快適で安全な場所になるように工夫している。トイレの場所もわかりやすいように表示している</p>		

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
		○	4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない